

【山崎主宰の俳句】

どんぐり山

山崎 聰

大雪のあとの紺碧船が出る

雪女ひとつはひとりの影曳いて

国憂うるときも雪降り窓あかり

どか雪にこんがらがっているふたり

これからを濃くして山の雪椿

雪やんでいのちの灯るごとく木々

ぐじゃぐじゃと生きぐじゃぐじゃの雪を踏む

遠嶺雪きよりの続きとして未来

寒三日月にんげんをいつやめようか

駒志津子さん

降る雪のどんぐり山に覚め卒寿